

令和5年5月10日(水)～令和5年8月2日(水) (計13日間19.5時間)

〈講座概要〉

本学の小学校教員免許状取得に必要な「図画工作科教育論」と同じ内容で、理論と実技を習得できる講座です。

現行の学習指導要領に対応した小学校における図画工作科の授業の指導法を学び直すことで、学校教育の現場での指導における課題に対応できるようようにします。

各回に実際の教科書題材の教材研究ができる時間を設定します。特に材料と用具の使い方について教科書に掲載されている内容を踏まえながら、安全に効率的に指導するためのコツを示す予定です。

◆募集定員	15名
◆受講対象者	一般 小学校で図画工作科を指導している教員
◆受講料	8,300円
◆申込期限	4月26日(水) 17:00
◆実施場所	五福キャンパス教育学部第3棟5階 図画工作室
◆特記事項	日本文教出版小学校図画工作科教科書1年～6年 300円(予定)×6=1,800円(予定) 材料費 1500円 紙代、板材その他の消耗品 保険料

◆講座内容

回数	期 日	時間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	5月10日(水)	19:30 ～ 21:00	「図画工作科という教科はなぜ、教科として存在するのか?」(模擬授業)絵に表す活動1年「いろいろなかたちのかみから」	隅 敦	教育学部・教授
2	5月17日(水)		「図画工作科でつける学力」(模擬授業)絵に表す活動3年「絵のぐ+水+ふで=いいかんじ!」		
3	5月24日(水)		「図画工作科の評価(1)学習評価の法的な位置づけ」(模擬授業)造形遊びをする活動1年「ならべて ならべて」		
4	5月31日(水)		「図画工作科の評価(2)評価規準と評価基準」(模擬授業)立体に表す活動3年「くぎうちトントン」		
5	6月 7日(水)		「図画工作科の存在意義(1)作品鑑賞の持つ意味」(模擬授業)鑑賞する活動6年「この筆あと、どんな空?」		
6	6月14日(水)		「図画工作科の存在意義(2)共通事項とは何か」(模擬授業)絵に表す活動6年「墨と水から広がる世界」		
7	6月21日(水)		「図画工作科の存在意義(3)共通事項とは何か」(模擬授業)工作に表す活動4年「ギコギコトントン クリエーター」		
8	6月28日(水)		「図画工作科の授業づくり(1)インクルーシブを踏まえた図画工作科のあり方」(模擬授業)絵に表す活動2年「ざいりょうからひらめき」		
9	7月 5日(水)		「図画工作科の授業づくり(2)学習指導案の果たす役割」(模擬授業)立体に表す活動5年「立ち上がれワイヤーアート」		
10	7月12日(水)		「図画工作科の授業づくり(3)図画工作科の学習指導案の立て方」(模擬授業)6年「くるくるクランク」		
11	7月19日(水)		「図画工作科の授業づくり(4)図画工作科の用具指導の重要性」(模擬授業)造形遊びをする活動5年「光と場所のハーモニー」		
12	7月26日(水)		「図画工作科の授業づくり(5)図画工作科の環境設定の必要性」(模擬授業)6年「自然を感じるすてきな場所で」		
13	8月 2日(水)		「図画工作科の授業づくり(6)図画工作科における ICT 機器活用の可能性」(模擬授業)造形遊びをする活動4年「まどをのぞいて」		

〈県民カレッジ単位〉

15単位